

西大和つうしん

2019年12月号
No.450



眼下に雄大な蒜山高原が広がる《2019.10.20》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第450号(2019年12月号)

【目次】

12月度山行計画	2
12・1月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・例会山行 《10/19-20》 中国山地 蒜山高原(玉野)	5
・例会山行 《10/27》 北摂の山 武田尾廃線ウォーク(野路)	6
・例会山行 《11/3》 竜門山地 高取山～明日香村(玉野)	7
・自主山行 《11/6》 大峰山脈 行者還岳(杉村)	8
・例会山行 《11/10》 台高山脈 白髭岳(藤井)	9
・自主山行 《11/10-13》 群馬の山 榛名山・裏妙義山(野路・上田・中)	10
室内例会だより	14
2019年度 第2回運営委員会議事録	15

12月度山行計画

～曾爾の名峰へ～

例会山行1 室生山地 《倶留尊山》 1,037m

【日 程】12月1日(日) (L勝尾)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00

【コース】曾爾高原入口～(15)～お亀池～(25)～亀山峠～(20)～二本ボソ～(30)～倶留尊山～(25)～二本ボソ～(15)～亀山峠～(25)～長尾峠～(15)～曾爾高原入口

※歩行時間：約3時間

※体験山行対象です。山行に興味がある方を是非お誘いください

教育部主催・教育山行 「第3回初級学習会」

【日 程】12月5日(木) (L中)

【集 合】どんづる峰駐車場 9:00、上牧役場前駐車場 8:30

【内 容】・アイゼンについて(座学)

・アイゼンワーク(アイゼン歩行の練習)

・簡易ハーネスの体験

【持ち物】アイゼン・ストック(なければ用意します)、登山靴、スパッツ、手袋、軽食

※学習時間：約4時間

～眺望がすばらしい六甲！！ロックガーデンを歩き、
少し岩場歩きを楽しみながら頂上を目指します～

例会山行2 六甲山地 《六甲山 932m～有馬温泉》

【日 程】12月8日(日) (L橋本)

【集 合】阪急芦屋川駅 8:20 (JR王寺駅 7:00 集合 7:08 大阪行に乗車)

王寺 7:08⇒大阪/大阪梅田 8:00⇒(阪急)⇒8:20 芦屋川

【コース】芦屋川駅～高座ノ滝～風吹岩～雨ヶ峠～七曲り～一軒茶屋～六甲最高峰～有馬温泉

※歩行時間：約5時間 歩行距離：約13km

西大和山の会 カレンダー

12月			2020年1月		
1	日	例会山行1《倶留尊山》(勝尾)	1	水	
2	月		2	木	
3	火	県連理事会	3	金	
4	水		4	土	
5	木	教育山行《アイゼン歩行》(中)	5	日	例会山行1《新春山行・信貴山》(島崎)
6	金		6	月	
7	土		7	火	県連理事会
8	日	例会山行2《六甲山～有馬温泉》(橋本)	8	水	
9	月		9	木	
10	火		10	金	
11	水		11	土	
12	木		12	日	
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日	西大和つうしん原稿締切	15	水	
16	月		16	木	
17	火		17	金	
18	水		18	土	
19	木		19	日	例会山行2《権現山～蓬萊山》(野路)
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日	12月度室内例会・忘年会	22	水	
23	月		23	木	
24	火		24	金	
25	水		25	土	
26	木		26	日	
27	金		27	月	
28	土		28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火		31	金	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	11/27	12/1 例会1 体験山行	12/5 教育山行	12/8 例会2	12/22 室内例会			
		室内 例会	倶留尊山	屯鶴峯	六甲山	忘年会			
1	(窪田)								
2	都築								
3	藤井								
4	(石田)								
5	島崎								
6	村田								
7	林								
8	勝尾		LO						
9	杉村								
10	橋本				LO				
11	亀高								
12	船江								
13	野路								
14	中			LO					
15	杉森								
16	上田								
17	永井								
18	川田								
19	岩田								
20	佐々木								
21	玉野								
22	今中								
合 計									
緊急連絡先									
HP 編集者									

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2

中国山地 蒜山高原 1,202m

【日 程】10月19日(土)～20日(日)

【参加者】CL 杉森・SL 藤井・SL 島崎・杉村・亀高・船江・野路・中・上田・永井・玉野・今中(12名)

10月19日(土) 雨

【J-タイム】香芝IC(8:00)⇒塩釜キャンプ場(13:30)⇒コテージだんだん村〔泊〕

山行の予定だったが、雨のため19日は移動日になる。4時間程で塩釜キャンプ場に着いたが、雨が一向に止まないののでテント泊を断念し、コテージ泊になった。早めにコテージに入れたので、午後3時半から宴会開始。Nさんのギターで宴会が盛り上がる中午後8時に、お開き。



10月20日(日) 曇り時々雨 上蒜山 1,202m・中蒜山 1,123m

【J-タイム】だんだん村(6:55)～上蒜山登山口(7:25)～五合目(8:23)～上蒜山山頂(9:15/30)～中蒜山(10:35/11:00 昼食)～五合目(11:48)～キャンピングヴィレッジ(12:45)

朝起きると雨は止んでいたが、登山口に行くまでに雨がバラつき、雨具をつける。急登を喘ぎながら登る。途中、紅葉や景色を楽しめたが、上蒜山山頂に着いた時にはガスに覆われ視界は全くなし。山頂で景色を撮るはずが断念。雨の中立ったまま少し休憩。中蒜山へ、途中しっかり降りまた登る。中蒜山に着いた時には足はガクガク。座り込んでしまう程だった。

下山は急な下りや鎖がいくつもあり、足が滑るためかなり神経を使う山行だった。山行の収穫ももちろんありましたが、泊った事で、皆さんに近づけた?皆さんと分かり合えた?ような気がして、この山行に参加して本当に良かったです。



(記：玉野和恵)

ヒヤリ・ハットなど

- ・中蒜山から塩釜キャンプ場のコースは、急な下りである。しかも、粘土質の根っこ道で滑りやすく、木の根に足を引っ掛けやすい。二人転倒したが、幸い怪我はなかった。



・雨が止まず、テント泊を中止せざるを得なかった。しかし、翌日の下見に行った時、偶然コテージを見たので、早速申し込みに行った。キャンセルが入り、幸運にも1棟だけ空いていた。今後は、コテージ等での宿泊も含めて計画する必要がある。

・下山後温泉に寄る時、場所を確認せずナビに電話番号を入れて走ったが、そこは受付事務所であり、温泉は別場所であった。何時でも地図をしっかりと見る必要性を痛感した。
(記：杉森英二)

例会山行3 北摂 武田尾廃線ウォーク (県連交流山行)

【日 程】10月27日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎・SL 藤井・林・杉村・船江・野路・佐々木・玉野(8名)
他会より14名(総計22名)

【コース】西宮名塩駅(9:50/10:10)～生瀬道合流地点(10:30)～第一トンネル(10:45)～鉄橋(11:30)～親水公園昼食(11:55/12:25)～赤松休憩所(13:10)～つつじヶ丘展望所(13:35)～東屋(14:10)～親水公園(14:30)～武田尾駅解散(14:50)

県連交流山行、今年は5年ぶりに西大和山の会がホストで行われました。西宮名塩駅に集合して、リーダー島崎さんよりコースの説明を受け、総勢22名でJR福知山線廃線敷を武田尾駅まで、約10kmを歩きました。

2016年秋に「利用者の自己責任」のもと一般開放されたハイキングコース。誰もが安心して歩けるよう綺麗に整備され、武庫川の自然豊かな渓谷美が楽しめる人気のコースである。枕木が所々残っており、トンネルの入り口は赤レンガ造りで当時のなごりが・・懐かしい景観を楽しめるコースである。春には山桜が咲き、秋にはもみじの紅葉が美しい親水公園などがある。歩き始めて20分ほどで、生瀬駅からの道と合流。また暫く進むと第一トンネルに到着。ヘッドランプを付けて4つのトンネルと鉄橋を渡る。荒々しい岩の間を流れる武庫川渓谷沿いを、他会の方々とふれ合いながら親水公園に到着、昼食となった。



昼食後、「遠見の道コース」に行く。今までのコースとは全く違い、最初からかなりの急登で一汗流してしまった。赤松休憩所からつつじヶ丘展望所を経て、さらに遠見のコースに行く。ササラ沢峠を左に曲がる所を真っ直ぐ進んでしまった。ここで道標が朽ちて倒れていたため、確認せず行ってしまった。この時「あれ左では??」と思いながらも確認せず、リーダーに何も告げなかった。そのまま進むと大峰山に行くコースであった。暫く進むと間違いに気づき、ササラ沢峠の分岐まで戻り、ササラ沢峠を左に曲がり、瀧見の道コースを進む。サ

サラ沢沿いは濡れており、滑り易い岩場で少しの距離であったが慎重に進む。徒渉を過ぎて東屋まで進むと、ここでどんぐりの道コースと合流。そしてさくらの道コースを進み、親水公園まで下った。二つのトンネルを過ぎると、車道を武田尾駅まで歩き解散となった。



参加者として気づいたことと反省

- ① 日曜日で一般の方が沢山歩いており、他会の方の顔が分からずあまり話が出来なかった。次回ホストのときは「参加者にリボンなど目印になるもの」が欲しいと思った。
 - ② ササラ沢峠を左では?? と思いつつ、確認をしなかった。
 - ③ 何度か歩いたコースであり、簡単な地図のみで地形図やスマホの地図を入れてなかった。
- (記：野路政子)

例会山行1 竜門山地 高取山 583.6m～明日香村

【日 程】11月3日(日) 晴れ

【参加者】L林・SL杉村・島崎・野路・玉野(5名)

【コースタイム】壱阪山駅(8:20)～上小島砂防公園(9:10)～猿石分岐(9:50)～高取城本丸(10:30/11:20 昼食)～猿石分岐(11:40)～柏森北(12:17)～案山子ロード分岐(12:55)～高松塚古墳(13:40)～近鉄飛鳥駅(14:25)／解散(14:30)



ばれたそうです。奈良県で唯一『日本名城100選』にも選定されており、美しく積み上げられた壮大な石垣が、今も山中に数多く残り「天空の城うピュタ」さながらです。ここで石垣の除草作業をされている方に出会いました。吉野林業に所属されているそうです。(かなりなイケメン) お分りのとおり、危険な作業で、後で

風邪などで欠席者も出て、5人で壱阪山駅を予定より10分早く出発し、上小島砂防公園までは舗装された土佐街道を進む。ここから高取城跡までは景色も素晴らしく程良い山道が続く。何度か給水をしながら本丸跡に着き、ここで早めの昼休憩。高取城は日本最大の山城であり、NHKの番組で日本最強の城にも選



ロープのくくり方は何だったのか、結び目を写真で撮れば良かったと思いました。帰りは猿石分岐から、竹林を通り柏森北までの道も風情があって良かったです。案山子ロードは色々な案山子があり楽しく散策出来ました。予定より1時間も早く飛鳥駅に着き、今日も帰ってから夕飯作らなければいけないなあと思いました。(記：玉野和恵)

自主山行 大峰山脈 行者還岳 1,547m

【日 程】11月6日(日) 晴れ

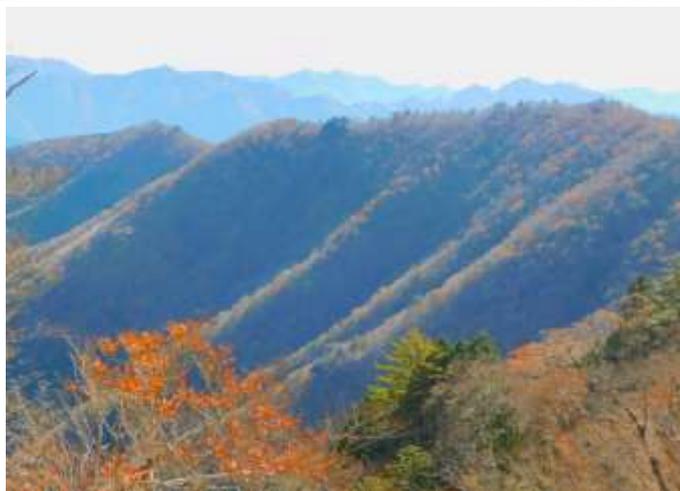
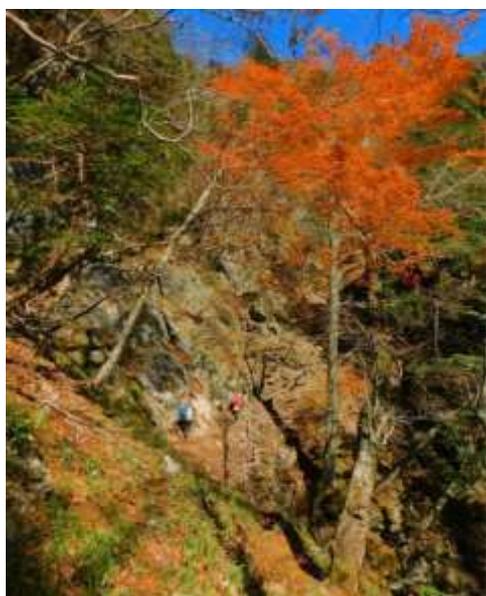
【参加者】L 杉村・島崎・今中(3名)

【コース】行還トンネル西口駐車場(7:56)～行者小屋(10:45/11:15)～行者還岳(11:50/12:05)～行者小屋(12:30)～一の埜(13:15)～行者還トンネル東口(15:05)～行者還トンネル西口駐車場(15:20)

日の出も遅くなり、寒々とした早朝 6 時集合、一路大峰へと。日本でも珍しい景色として取り上げられている『天に昇る龍のような紅葉』を見たくて計画しました。去年は11月15日ごろが見ごろだったのですが・・・今年は紅葉が少し早いようです。行者還岳も落葉が進み、大峰奥駈道も明るい様相で・・・行者還岳トンネル西口から、奥駈道分岐への長い急登も元気よく進む。一の埜から熊笹の歩きよい奥駈道では、大普賢方面の展望を堪能しながら山座同定をし、一部ナメゴ谷の晩秋を見ることもできた。行者小屋に11時前に着いたが、早めの昼食を済ませて山頂へ。行者還岳の山行は、ここから危険な個所の階段、岩の通過があり慎重に進んだ。山頂では大きく膨らんだシャクナゲの蕾を見ることはできたが、紅葉は・・・ん・・・



下山は一の埜分岐から激下りのコースで、行者還トンネル東口に。うららかな小春日和に恵まれ爽快な山行ができた。(記：杉村好子)



【日 程】11月10日(日) 晴れ

【参加者】L 永井・SL 杉森・藤井・杉村・亀高(5名)

【コース】東谷出合(7:10)～石清水(8:00)～神之谷分岐(8:55/9:00)～小白髭岳(9:30/9:35)～白髭岳(10:50/11:35 昼食)～小白髭岳(12:50/55)～神之谷分岐(13:25/30)～東谷出合(16:00)

柏木から赤い橋を渡り林道終点まで行く。以前は駐車地になっていたところに、ロープが張られていて駐車禁止になっていたので路肩に停める。沢沿いに登って行くと小さな滝があり、先に進めない所以对岸に渡り登って行く。ここが道がわかりにくかった。最後の水場の石清水を過ぎると、樹林帯の長い急登になる。果てしなく続くと思われたがようやく尾根に出ると、展望が開け紅葉した木々が綺麗だった。ここからはやせ尾根のアップダウンの連続、随所にロープが張ってあって、落石しやすい急坂があり、気が抜けない。いくつかの二セピークを越え、たどり着いた山頂は狭いが大峰台高の絶好の展望地。大普賢岳の三兄弟が目の前にそびえていた。京大の今西錦司先生の碑が立っていた。風もなく暖かい陽だまりで、展望を独占してゆったり食事、至福のひとつときを味わう。



復路は神之谷分岐から尾根を直進する。植林地の長い尾根を下って行くが、途中テープにつられて進路を間違えてしまった。GPSを持っていながら、すぐに確認せず強引に下ってしまい、苦勞して下りた急坂をまた上り返す羽目になってしまった。元の道に戻り無事神之谷集落到り立った。

風もなく暑くもなく絶好の登山日和なのに、出会った登山者は一人だけ。台高の奥深い静かな山を堪能できたが、ピラミダルな美しい山容だけあって、厳しい手強い山だった。

(記：藤井益子)

登ってきたやせ尾根を下って行くと犬の鳴き声が聞こえてくる。近づいて行くと2匹のワンちゃんが道をふさいでいた。狭い尾根道なので迂回することもできず、ストックを握って声をかけながら進むとやっと後退してくれ、その後山頂に向かって登って行った。GPSを付けており、飼い主の姿は見かけなかったが自由に遊ばせているのだろうか。可愛いワンちゃんだったが、急に飛びかかれば大変なので慎重に。これですいぶん時間をとってしまった。



自主山行

群馬の山 榛名山・裏妙義山

榛名山（榛名富士・掃部ヶ岳）・裏妙義山（丁須の頭・烏帽子岩）

【日 程】 11月10日（日）～11月13日（水）

【参加者】 L 島崎・SL 野路・中・上田（4名）

11月10日（日） 晴れ 榛名富士 1,391m

【コースタイム】 佐味田川(5:00)⇒榛名湖温泉ゆうすげ元湯(12:40/13:00)～榛名富士登山口(13:15)～榛名富士山頂(14:05/25)～ビジターセンター登山口(15:00)～榛名湖温泉ゆうすげ元湯(15:45)

11日のお天気が良くないとのことで、1時間早い5時に佐味田川駅前を出発して榛名富士に登ることになった。榛名山は群馬県北部にある上毛三山の1つで、あと妙義山・赤城山の三山からなっている。今回はそのうちの2座に登る。榛名山は15峰からなる名称で、榛名富士は其中最も象徴的な山である。榛名山は約22万5,000年前に大噴火を起こし、2,500mあった山が半分吹き飛び、周囲4.5kmのカルデラが形成された。その後も火山活動が活発で、何度も噴火が繰り返され、約4万年前に現在の姿になったようです。榛名湖は日本で2番目に高い所にある湖で、湖面に映る榛名富士を見るのも楽しみの1つでした。



紅葉が残る榛名富士登山口から登り始める。黒い火山灰が堆積している山で道は滑り易く、



地表ももろいのか所々崩落しており、登山者が別のルートを歩いたりして、少し迷いやすい道が沢山あった。かなりの急登であるが山頂までは1時間弱。古来山岳信仰を受けて来た山で、山頂には榛名富士神社が立っている。

下りはビジターセンターへの道を降りたが、午後の日差しを一杯に受け、榛名湖を望みながら下る道は気持ちよく、コースタイムも35分と短い距離であった。ビジターセンターから湖畔の遊歩道を、湖と真っ赤に色づいたもみじを眺めながら、ゆうすげ元湯までの散策を楽しんだ。

（記：野路政子）

11月11日（月） 小雨後曇り後雨 掃部ヶ岳 1,449m

【コースタイム】 ゆうすげ元湯(10:00)⇒竹久夢二アトリ工見学・他散策(12:00)～湖畔の宿記念公園登山口(12:20)～硯岩道分岐(13:00)～掃部ヶ岳山頂(13:15/30)～硯岩(14:05)～硯岩登山口(14:30)～駐車場(14:40)⇒伊香保温泉(15:20/16:00)⇒ひしや旅館(17:30)

烏帽子岳から鬢櫛山を経て掃部ヶ岳まで縦走する予定だったが、朝からガスと霧雨で視界が悪く、午前中の登山は取り止めた。竹久夢二アトリエや湖畔の宿公園などを散策して、午後掃部ヶ岳のみ登ることにした。竹久夢二アトリエは復元されたものであるが、夢二はここにアトリエを設け、榛名山をバックに立つ「立田姫」など沢山の作品を描いているそうです。榛名富士が正面に見え、湖面に逆さ富士が映る、絶景ポイントに建っていました。

アトリエ横にある「湖畔の宿」記念公園が登山口になっていて、笹の生える道を登って行く。最初はかなりの急登であるが、硯岩コースとの出合を過ぎる頃から緩やかな尾根



道になり、天気が良ければ、下の榛名湖や湖畔が綺麗に見えるはず・・・が残念。天気は回復したものの、依然としてガスは出ており展望は全くなし。帰りは硯岩コースを下ったが、階段がズーと続き、滑り易く、土もえぐられており、丸い丸太だけが残る道で、歩きにくく横の笹道を歩いて下山。硯岩は垂直に立つ大きな岩で、下を眺めると身震いするのは・・・と思っただが、生憎ガスで怖さも何も分からない。登山口近くなったころ、止んでいた雨もまた降りだしてきた。

紅葉で有名な「伊香保温泉」がここから7km位の距離だということで、ちょっと遠回りになるが寄ってみた。初めて訪れた伊香保温泉、歴史のある温泉で古くは「万葉集」にもその名が登場しているようです。山の上へと伸びる温泉街で、石段街は365段、「1年365日幸せでありますように・・・」と願いながら伊香保神社まで上がっていくそうです。いつかもう一度訪れてみたい温泉でした。(記：野路政子)

11月12日(火) 晴れ 丁須の頭 1,057m・烏帽子岩 1,117m

【コース】 国民宿舎駐車場(7:30)～登山口(7:40)～丁須の頭(10:00/40)～昼食(11:30/12:00)～烏帽子岩(13:15)～三方境(13:40)～下山(15:10)～国民宿舎駐(15:15)

上信越自動車道を関東方面に向かって走って行くと、左手に形の良い浅間山が見えてくる。雲一つない空に美しい姿が映える。トンネルを2～3度過ぎると、右手にギザギザの黒くて険しい山が現れた。山頂が吹き飛び、ちぎれてしまったかと思わせる山容だ。何なんだこの山は、なんでこんな形になっているの？ 大げさに表現すると地獄絵巻の山容だ。名前は知らなくても登山をしない人でも、一度見たら忘れない姿だろう。優しい姿の浅間山とは対照的な岩山、妙義山だ。妙義山は中木川を挟んで表妙義と裏妙義に分かれる。登山口は数年前に閉館した国民宿舎裏妙義駐車場から、10分ほど奥へ入ったところにある。植林された杉林、渡渉数回、夏はヒルが出そうな谷間から徐々にブナ、もみじの紅葉に変わっていく。登るにつれ、大きな岩が出始めた。鎖も付けてあるので進路だろう。避けて通れないので割れ目、

隙間に体を添わせ通過する。またまた、5～6m ほどもある岩にぶつかる。太い鎖が垂れ下がっている。岩肌はまるでガマガエルの背中、デコボコ、ザラザラしているので足がかりは良いが、握力と腕力がかかなり必要だ。こんな調子で丁須の頭まで約3時間、岩越え、岩壁超えの鎖場が続く。夢中で足元ばかり見て上っていたら、突然進路に行き詰まって周りを見回す。何やら近くで声がある。巨岩裏手に回り込むと、ハンマーの形をした名物奇岩の丁須の頭まで来ており、頂上で若い女性の声がある。台座まで10mほどの岩場を登り、3～4人が立てるほどの広さの首まで登る。頭には自信がないので諦める。若者はロープ、カラビナなど重装備で頭まで登り、自前のロープで台座まで降りてくる。台座からは360度の眺望。頭と首の間が細くてよく持ちこたえているなあと驚く。

裏妙義山の名物奇岩を存分に楽しんだら、また鎖、トラバースを繰り返す、赤岩、烏帽子岩を通過。今回最難関のチムニーと言われる落差20mほどの岩場に来た。岩はスパッと割れ、裂け目から着地部分がまるで見えない。どうやって降りようか？幅2mほどの隙間を、鎖と岩の出っ張りに足をかけ慎重に一步一步、手探りならぬ足探りしながら、体重をこの腕と握力で支えて「最後まで力尽きません様に」と気合を入れる。手、腕がブルブルと震えている。まだまだトラバースが待っている。角度40度もある



うか？岩面のトラバースでは足場の隙間から谷が見え、宙に浮いている。なかなか手ごわいぞ～。烏帽子岩下で一休み、久しぶりに平らな場所に出てくる。お茶を飲むにもお菓子を口に運ぶのも手が震えてこぼれそうになる。道は緩やかな下りになり、三方境分岐を過ぎ岩場、鎖もなく従来の山道となる。杉林に入り、沢の音も聞こえてきて、緊張も解け談笑もできるようになった。振り返れば、登山中雑談するのも忘れてたんだ～。歩行時間は8時間足らず、夢中だったのでアッという間だった。
(記：上田雅子)

11月13日(水) 晴れ 石門登山口から妙義神社まで

【J-タイム】石門登山口(7:40)～第四石門(8:20)～本読み地蔵(9:50)～第二見晴台(10:20)～第一見晴台(10:55)～妙義神社(11:10)

4日目、昨日に続き快晴の中を、旅館の方に車で石門登山口まで送ってもらいました。登山口を進むと第一石門が見えてきました。早速ちょっとした鎖場を上り、カニの横バイ・第二石門を眺めながら歩いて行くと、まるで鬼ヶ島の門の様な第四石門を抜ける。岩場を繰り返して歩いて行くと、下の廊下を思わせる岩をえぐったような山道があり、頭がつかえるので姿勢を低くして通過しました。変化に富んだ中間道です、快調にゴールを目指す。人気の

コースなので行き違いの人も多く、平日ながら近郊の県から紅葉を求めて来る人で賑わっていました。経験済みコースなので所々の特徴を思い出しながら歩くと、あった！あった！長いアップダウンの鉄階段約 170 段です。「足元注意」の表示もあり、緊張しながら慎重に通過しました。四阿で休憩をとり、まもなく岩場が少なく道も緩やかになり、険しい裏妙義山の山容を見上げるようになる。自然の岩そのままのお地蔵さん「本読みの僧」に着くと、山行もあと少しで終わりです。紅葉を楽しみながら、緩やかな長い山道を歩き妙義神社に到着。登山が無事終了した感謝の参拝をしました。青空と美しい紅葉を堪能して、帰るのが惜しい一日でした。
(記：中昌子)



室内例会だより

【日 時】2019年10月30日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】藤井、島崎、橋本、亀高、野路、中、杉森、上田、佐々木、玉野、今中、都築(記録)

1. 山行計画

- 11月3日(日) 公開山行 例会山行1 奈良中部《高取山 583.6m~明日香村》……………L 林
- 11月10日(日) 例会山行2 台高山脈《白髭岳》1,378m……………L 永井
- 11月17日(日) 例会山行3 播磨の山《七種槍 577.1m~七種山 683m》……………L 橋本
- 12月1日(日) 例会山行1 室生山地 《倶留尊山》1,037m……………L 勝尾
- 12月5日(木) 教育部主催・教育山行「第3回初級学習会」……………L 中
- 12月8日(日) 例会山行2 六甲山地《六甲山 932m~有馬温泉》……………L 橋本

2. 山行報告

- 9月14~16日 自主山行 両白山地《赤兎山・三ノ峰~別山》L 野路……………5名
- 9月15日 例会山行3 台高山脈《池木屋山》L 船江……………6名
- 9月29日~10月5日 自主山行 東北の山《月山・烏海山・秋田駒ヶ岳・岩手山》L 島崎
……………6名
- 10月10日 教育部主催《第2回初級学習会》L 中……………8名

3. 報告・連絡事項等

★本会より

・事務所について

事務所(窪田宅)を閉めた後の対応については、現在、運営委員会で検討中です。

・運営委員会議事録(9月22日)より

議事録に「同じ場所の夏山自主山行計画が2つ出た場合にリーダー同士の話し合いで決めて載きたい」と記載されていたことについて、質疑応答があった。

以上

2019年度 第2回運営委員会議事録

【日 時】2019年11月4日(月) 13:30～15:00 事務所

【出席者】島崎・野路・亀高・藤井・都築(記録)

【欠席者】林・中

運営委員会案件

1. 事務所変更に伴う室内例会等の開催場所・時間等について

現在、西大和山の会の事務所として使用させていただいている名誉会員窪田氏の自宅の基礎・外壁等の劣化が進んでいるため引っ越しを検討されていることから、2020年度より下記の通り公的施設の会議室を借りることとする。

いくつかの候補の中で、集合しやすい点からは王寺町地域交流センター(リーベル王寺東館5階)が最も利便性が高く、第一選択とする。但し、他の催し物などで借用できないことも想定し、別の候補も検討する。

(1)室内例会の開催(3ヶ月ごと年4回の開催とする)

○2019年度

- ・12月22日(日):忘年会前に現事務所にて開催。
- ・2020年1月・2月:室内例会は開催しない。
- ・2020年3月29日(日):定期総会後に開催。12月頃まで窪田宅は使用可能見込み。最後の定期総会及び室内例会は交流センターになる見込み。なお、窪田宅が使用できる場合は、窪田宅を使用。

○2020年度

- ・6月27日(土):13:30～王寺町福祉文化センター・南公民館(王寺町畠田)
- ・9月27日(日):暑気払いの前に王寺町地域交流センターで開始
- ・12月20日(日):忘年会の前に王寺町地域交流センターで開催
- ・2021年3月28日(日):定期総会後に王寺町地域交流センターで開催

(2)費用

①王寺町地域交流センター(リーベル王寺東館5階)フリールーム/13:00～17:00 迄 3,000円

②王寺町福祉文化センター・南公民館(王寺町畠田)/1H 当たり 1,000円

※運営委員会は適宜土曜日の昼間に開催する。少人数であることから、場所は王寺町福祉文化センター・南公民館(王寺町畠田)や、運営委員の居住地の公民館(例:ゆりが丘コミュニティセンター1H 当たり 500円)など臨機応変に対応する。

※装備等の物品は、林副会長の自宅で預かっていただく。

2. 総会資料に明記する点等について

活動方針案の中の3の3)室内例会「7月を除く各月に一度事務所にて室内例会を実施する」を「6月、9月、12月、3月に室内例会を実施する。」に変更する。

会則の第1条の中で「事務所を奈良県北葛城郡内に置く。」を削除する。

細則3の第6条の中で「適切な人材を集めて事務所(窪田宅)に集合し」を削除する。

その他 HP 等についても事務所に関する記載を削除する(2020年4月以降)。

3. その他

例会山行における団体装備として、ロープを会で購入する。

以上

西大和つうしん

第 450 号 (2019 年 12 月号)

2019 年 11 月 27 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>